



# 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年2月8日

上場会社名 株式会社 カイゲン

上場取引所 大

コード番号 8000 URL <http://www.kaigen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岩塚 英文

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 和田 直

TEL 06-6202-8971

四半期報告書提出予定日 平成23年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	7,882	△3.9	477	1.1	527	2.3	277	△0.8
22年3月期第3四半期	8,205	△0.1	472	2.4	515	3.6	279	7.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	30.99	—
22年3月期第3四半期	31.03	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	12,524	8,368	66.8	935.66
22年3月期	11,863	8,215	69.3	918.30

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 8,368百万円 22年3月期 8,215百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
23年3月期	—	4.00	—		
23年3月期(予想)				4.00	8.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

## 3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	2.8	390	14.5	430	10.3	230	2.5	25.71

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期3Q	9,099,303株	22年3月期	9,099,303株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	154,933株	22年3月期	152,639株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期3Q	8,945,824株	22年3月期3Q	9,007,959株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報.....	2
2. その他の情報.....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	3
3. 四半期財務諸表.....	4
(1) 四半期貸借対照表.....	4
(2) 四半期損益計算書.....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	7
4. 補足情報.....	8
(1) 生産、受注及び販売の状況.....	8

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、アジアや資源国を中心とした海外景気の持ち直しや政府の景気対策による消費支出の下支え等を背景に、全体として穏やかな回復兆候が見られるものの、円高・デフレの長期化や厳しい雇用情勢等、依然として先行き不透明な状況が続いており、個人消費は低調に推移いたしました。

このような状況のなか、当第3四半期累計期間における売上高は7,882百万円（前年同期比3.9%減）、営業利益は477百万円（前年同期比1.1%増）、経常利益は527百万円（前年同期比2.3%増）、四半期純利益は277百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

部門別の業績は次の通りであります。

#### ①医療用医薬品部門

医療用医薬品では、消化器に作用する薬剤は、主力の消化性潰瘍・逆流性食道炎治療薬「アルロイドG」が薬価引き下げの影響により減少しましたが、後発品促進政策が追い風となり「ランソプラゾールOD錠」をはじめとする後発関連医薬品は伸長しました。

診断用薬のバリウムと発泡剤につきましては、内視鏡検査への移行による精密検査数や注腸検査数の減少、さらには薬価引き下げの影響等により減少となりました。

医療機器につきましては、内視鏡消毒装置「クリーントップWM-S」の第二世代機として洗浄履歴管理ソフトを標準装備した「クリーントップWM-S II」を11月に販売を開始したことや、機器メンテナンス契約及び機器関連消耗品の続伸により伸長しました。

この結果、医療用医薬品部門の売上高は5,797百万円（前年同期比3.2%減）となりました。

#### ②一般用医薬品部門

一般用医薬品では、店頭消化や企業とのタイアップ企画を中心とした営業活動を継続して行ってきました。

主力商品の粉末「改源」をはじめとする風邪薬関係は季節的要因による影響が大きいことから、今夏の猛暑により秋始めに配荷遅れが生じたものの、11月以降は店頭消化も進み昨年より伸長しました。一方、インフルエンザ関連商品は昨年実績には至らず減少となりました。

この結果、一般用医薬品部門の売上高は1,618百万円（前年同期比3.4%減）となりました。

#### ③健康食品部門

健康食品では、当第3四半期会計期間に、「はちみつレモン青汁」など自社通販に特化したサプリメント3品目を新発売しましたが、売上に寄与するまでには至りませんでした。また、主力商品である「コレカット」も他社通販の売上低迷が影響し減少となりました。

この結果、健康食品部門の売上高は467百万円（前年同期比13.2%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における総資産は12,524百万円（前事業年度末11,863百万円）となり、前事業年度末に比べ661百万円の増加となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

また、負債は4,155百万円（前事業年度末3,647百万円）となり、前事業年度末に比べ508百万円の増加となりました。主な要因は、買掛金、未払法人税等の増加及び未払費用の減少によるものであります。

純資産については、8,368百万円（前事業年度末8,215百万円）となり、前事業年度末に比べ153百万円の増加となりました。主な要因は、四半期純利益の計上による増加及び配当金の支払いによる減少であります。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、前回公表時（平成22年5月11日）に想定した予想に沿った業績で推移しておりますので、修正しておりません。

今後、何らかの変化がある場合には、適切に開示してまいります。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①簡便な会計処理

##### a 一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末に算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

##### b 棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末における棚卸高の算出に関しては、一部で実地棚卸を省略し第2四半期会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的に算定する方法を適用しております。

##### c 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

##### d 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前事業年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法を適用しております。

#### ②特有の会計処理

##### a 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ①「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

#### ②「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,004,443	4,045,125
受取手形及び売掛金	4,749,533	4,086,380
商品及び製品	519,207	504,949
原材料及び貯蔵品	112,737	122,506
その他	113,869	104,990
貸倒引当金	△12,000	△10,000
流動資産合計	9,487,790	8,853,952
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,785,941	1,785,941
その他(純額)	645,520	638,686
有形固定資産合計	2,431,461	2,424,627
無形固定資産	63,166	20,023
投資その他の資産		
その他	546,171	573,802
貸倒引当金	△3,856	△9,049
投資その他の資産合計	542,314	564,752
固定資産合計	3,036,942	3,009,404
資産合計	12,524,733	11,863,356
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,576,278	2,079,360
未払法人税等	166,838	40,660
賞与引当金	82,500	169,000
その他の引当金	53,074	50,939
その他	585,825	609,652
流動負債合計	3,464,517	2,949,612
固定負債		
退職給付引当金	621,620	617,032
その他の引当金	23,887	35,160
その他	45,852	45,852
固定負債合計	691,360	698,044
負債合計	4,155,878	3,647,656

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,364,609	2,364,609
資本剰余金	2,113,414	2,113,414
利益剰余金	3,928,108	3,758,212
自己株式	△64,299	△63,441
株主資本合計	8,341,833	8,172,795
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	27,022	42,904
評価・換算差額等合計	27,022	42,904
純資産合計	8,368,855	8,215,699
負債純資産合計	12,524,733	11,863,356

(2) 四半期損益計算書  
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	8,205,515	7,882,901
売上原価	4,928,154	4,689,847
売上総利益	3,277,361	3,193,054
返品調整引当金繰入額	—	1,000
返品調整引当金戻入額	5,000	—
差引売上総利益	3,282,361	3,192,054
販売費及び一般管理費	2,809,719	2,714,151
営業利益	472,641	477,903
営業外収益		
受取利息	7,507	4,571
受取配当金	30,903	31,330
その他	10,502	20,442
営業外収益合計	48,913	56,343
営業外費用		
支払利息	156	96
寄付金	2,653	4,194
その他	3,252	2,705
営業外費用合計	6,061	6,995
経常利益	515,492	527,251
税引前四半期純利益	515,492	527,251
法人税等	236,000	250,000
四半期純利益	279,492	277,251



(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

(単位：千円)

事業部門	前第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	増減	
	金額	金額	金額	増減率 %
医療用医薬品部門				
医療機器	699,579	624,821	△74,757	△10.7

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

## ② 商品仕入実績

(単位：千円)

事業部門	前第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	増減	
	金額	金額	金額	増減率 %
医療用医薬品部門				
医薬品				
消化器に作用する薬剤	1,068,822	993,640	△75,181	△7.0
診断用薬	1,934,309	1,822,939	△111,370	△5.8
小計	3,003,131	2,816,579	△186,552	△6.2
医療機器	198,233	244,115	45,882	23.1
その他	167,452	162,688	△4,763	△2.8
計	3,368,817	3,223,384	△145,433	△4.3
一般用医薬品部門				
医薬品				
神経系、呼吸器系及び循環器系に作用する薬剤	758,259	678,371	△79,888	△10.5
消化器に作用する薬剤	71,596	69,546	△2,049	△2.9
保健栄養強壯剤	19,131	20,362	1,230	6.4
その他	78,618	20,207	△58,410	△74.3
小計	927,606	788,488	△139,117	△15.0
医薬部外品	842	561	△280	△33.3
その他	105,633	88,584	△17,049	△16.1
計	1,034,081	877,634	△156,447	△15.1
健康食品部門	372,929	337,746	△35,182	△9.4
合計	4,775,828	4,438,765	△337,063	△7.1

(注) 1 金額は、仕入価格によっております。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

3 商品仕入合計額のうち、堺化学工業(株)より次の通り仕入れております。

前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間
3,273,602千円	3,109,489千円

## ③ 販売実績

(単位：千円)

事業部門	前第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	増 減	
	金 額	金 額	金 額	増減率 %
医療用医薬品部門				
医薬品				
消化器に作用する薬剤	1,831,468	1,767,972	△63,496	△3.5
診断用薬	2,975,909	2,838,376	△137,533	△4.6
小計	4,807,378	4,606,349	△201,029	△4.2
医療機器	979,228	996,206	16,978	1.7
その他	205,020	194,968	△10,051	△4.9
計	5,991,628	5,797,524	△194,103	△3.2
一般用医薬品部門				
医薬品				
神経系、呼吸器系及び循環器系に作用する薬剤	1,334,653	1,322,749	△11,903	△0.9
消化器に作用する薬剤	87,860	88,586	725	0.8
保健栄養強壮剤	27,557	23,978	△3,579	△13.0
その他	88,362	51,863	△36,498	△41.3
小計	1,538,433	1,487,177	△51,255	△3.3
医薬部外品	1,295	1,114	△180	△13.9
その他	136,096	130,070	△6,026	△4.4
計	1,675,825	1,618,363	△57,462	△3.4
健康食品部門	538,061	467,013	△71,048	△13.2
合計	8,205,515	7,882,901	△322,613	△3.9

(注) 1 総販売実績に対し、10%以上に該当する販売先はありません。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。